

投稿規定

2024年6月2日改訂版

1. 投稿は原則として日本精神分析学会正会員および名誉会員に限る。ただし、調査／実証研究のジャンルにおいては、第4著者以下はこの限りではない。
2. 論文内容は未公刊のものに限る。
3. 論文の採否、掲載欄、掲載順などは編集委員会が決定する。
4. 投稿論文のジャンル、それぞれの字数制限は以下のとおりである。投稿の際、著者は掲載を希望するジャンルを表題の前に明記しなければならない。

1) 総説：ある主題についての学問的動向を見渡し、著者独自の視点からそれを論考した論文。12,000字以上28,000字以内。

2) 原著：著者のオリジナルな主張が提起されている論文。12,000字以内。

3) 症例／事例研究：症例もしくは事例の臨床研究。10,000字以内。

4) 調査／実証研究：実証研究・観察研究・質的研究・心理検査を用いた研究など、精神分析の領域において通常の心理学的医学的研究の手法をとったもの。10,000字以内。

5) 応用：精神分析的な考えを応用した症例もしくは事例の臨床研究。10,000字以内。

6) 論考：精神分析的な概念、歴史などについての著者独自の見解を提起する論考。12,000字以内。

7) 研修症例：本学会大会における「研修症例」発表をまとめたもの。当日の助言者による助言とともに掲載されることを原則とする。8,000字以内。

8) 講演記録：掲載する意義のある講演の記録。

9) 資料：掲載する意義のある資料、情報など。

5. 本誌掲載論文について会員が意見を述べたい場合、「誌上討論」として、1,200字以内で投稿できる。
6. 字数のカウントは論文本文の実字数で行う。句読点、括弧などの記号は1字に数える。行替えなどにもなうスペースは字数に含まない。図表、写真、アートなどは1点400字として換算する。
7. 原稿はワードプロセッサを用いて作成する。原則として当用漢字、新かなづかいを用い（特殊な術語などはこの限りではない）、A4用紙（もしくはそれに準ずるサイズ）に横書き40字×40行で印字する。本文は原則として明朝体で印字する。
8. 外国人名、外国地名等の固有名詞は原則として原語を用いる（例：Freud, S./Bion, W. R./London）。
9. 引用文献は必要最小限とする。文献の主著者のアルファベット順に番号を付し、本文中にその番号を適当な個所に付す。肩付きで^{1) 2)}のように記載する。本文の末尾に「文献」という表題にて文献リストを付し、文献を番号順に記載する。文献リストは字数にカウントされない。各文献は、雑誌に掲載された文献については、著者名、発行年、題名、誌名、巻、ページの順（誌名の短縮はしない）、単行本の場合は、著者名、発行年、書名、出版社名、発行地の順に掲載する。

[例] 1) 土居健郎（1960）：ナルチシズムの理論と自己の表象。精神分析研究7, 7-9

2) Strachey, J. (1934) : The nature of therapeutic action of psychoanalysis. The International Journal of Psycho-Analysis 15, 127-159

3) Sullivan, H. S. (1956) : Clinical Studies in Psychiatry. W. W. Norton, New York. 中井久夫, 山口直彦, 松川周吾訳（1983）：精神医学の臨床研究。みすず書房、東京

4) Winnicott, D. W. (1968) : The use of an object and relating through cross identification. In Winnicott, D. W. (1971) : Playing and Reality. Basic Books, New York. 橋本雅雄, 大矢泰士訳（2015）：改訳 遊ぶことと現実。岩崎学術出版社、東京

10. 表題, 著者名, 著者所属, 5語以内のキーワードを和文と英文で付ける。謝辞を記す場合, 本文末尾に1行あけて記す。謝辞は字数のカウントには含まれない。
11. 総説, 原著, 症例/事例研究, 調査/実証研究, 応用, 論考には本文はじめに800字以内の邦文要旨とその英訳を付す。
12. 編集委員会が内規に定める各論文ジャンルごとの規定の刷り上りページ数までは無料で掲載するが, それを超えるときには超過分の実費は著者の負担とする。ただし, 超過には一定の限度を編集委員会が内規にて定める。また, 図表, 写真, アートなどで製版, 用紙, 印刷に特別の費用を要する場合も, 実費を著者の負担とする。別刷り作成はすべて著者の実費負担とする。
13. 本誌の性質上, 著者は患者, クライアントのプライバシーに十分配慮しなければならない。プライバシー保護に関する責任は著者が負う。
14. 著者校正は原則として1回行う。最小限の字句の訂正にとどめなければならない。
15. 投稿に際しては, 論文の電子データ(原則的にMSワード形式)を電子メールの添付ファイルとして「精神分析研究」制作部jjpa@iwasaki-ap.co.jpあてに送信するか, フロッピー・ディスクなどの記録媒体を〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-6-1 菱和ビルディング2F 岩崎学術出版社内 日本精神分析学会「精神分析研究」制作部に送付する。それに加えて, 著者が必要と考える場合, 電子データをプリントアウトしたものを1部, 上記制作部あてに送付する。